2017 年度洛陽教会公開社会委員会 1

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

「放射線汚染と健康被害の状況」

福島第一原発事故がもたらしているもの

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

日時　2017 年 7 月 30 日(日) 13：00　～15:00

場所　日本基督教団洛陽教会 地階ホール

報告　森下耕牧師

東日本大震災時に発生した福島第一原発事故は、発生時に重大な放射能漏れを起こし広大な地域の放射能汚染を起こしました。政府は、あたかも放射能汚染の問題は除染で終結したかのように情報を操作し、汚染地への帰還を進める方向をとっています。歪められた線量基準の下、現在もなお広範な地域に高い水準の被曝の問題があり、被災者・住民は被曝リスクからの健康不安を抱えた状況下にあります。

6 月、森下耕牧師は、教団社会委員会で福島県会津高松、宮城県仙台市を訪ねられ、現在の放射能汚染・被曝に関する問題について学んでこられました。今回の公開社会委員会は、その報告を伺い考えたいと思います。ぜひご参加くださるよう、ご案内いたします。

日本基督教団洛陽教会社会委員会